

ご使用前に必ずお読みください。

LPガス用ゴム管取扱説明書

お買い上げありがとうございます。この製品は(一財)化学物質評価研究機構の“液化石油ガス用屋内低圧ゴム管検査規則”に合格したLPガス用のゴム管です。製品外面の表示をご確認ください。

表示例(呼び径9.5、2017年製造): (合格 LPG用 9.5 十川ゴム T 17J 1) CERI
呼び径 2017年製造

より安全にご使用いただくために、下記の使用方法をよく読んでご利用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。この取扱説明書には、安全に関する重要事項が書かれており、これらをお守りいただかないとお客様の生命、財産に損害が及ぶ可能性があります。なお、誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

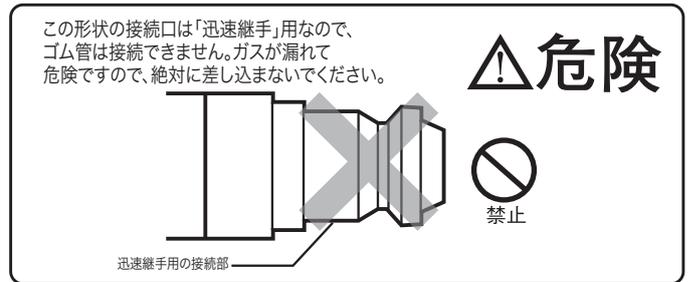
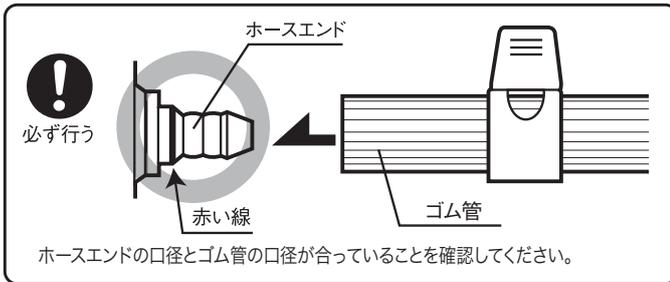
- △危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。
- △警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
- △注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

1. 取り付け方法

(1) 事前確認

LPガス用ゴム管が接続できるガス接続口は「ホースエンド」です。

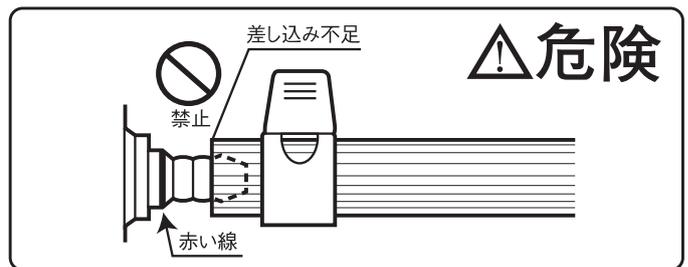
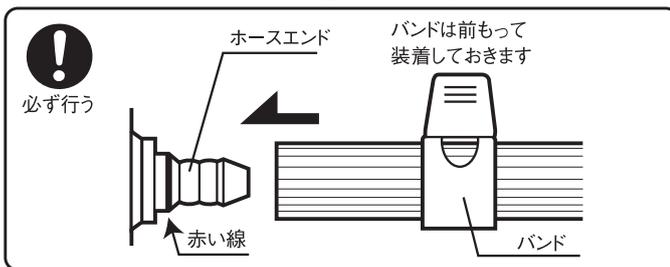
- ガス栓や機器側のガス接続口には種類があり、ゴム管を取り付けできるのは下左図の「ホースエンド」となります。
- 下右図の「迅速継手」用の接続部にゴム管を差し込むと、ガス漏れの原因となりますので絶対に差し込まないでください。



(2) 取り付け作業

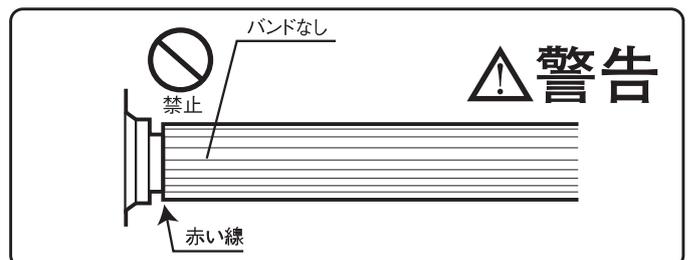
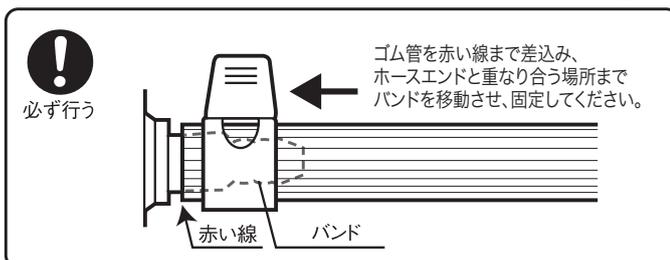
ゴム管は赤い線まで確実に差し込んでください。

- 最初に専用のバンドをゴム管にももって装着します。
- 次にゴム管をホースエンドの赤い線まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分ですとガスが漏れる原因となります。
- 差し込みにくい場合は、ゴム管の先端に少量の水をつけると差し込みやすくなります。



バンドを使って接続部を必ず固定してください。

- ゴム管が抜けるのを防ぐため、必ず専用のバンドを使ってホースエンド部と重なり合う場所で固定してください。



(3) 取り付け後の確認

- ゴム管を取り付けた後にガス栓を開きガス臭気がないか確認してください。異常が認められる場合はガス栓を閉じてゴム管の接続状態と外観を点検し、再度接続し直してください。なお、ガス臭気がある際は火気を絶対に近づけないでください。
- 原因がわからない場合は、お買い上げの販売店もしくは最寄りのガス会社にご連絡ください。

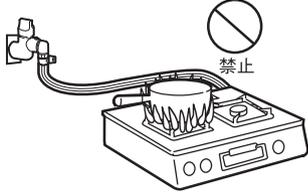
2. 危険な使用方法と日常点検

■危険な使用方法と注意事項について代表事例を記載しています。日頃から日常点検を行い安全にお使い頂くようお願いいたします。

△危険

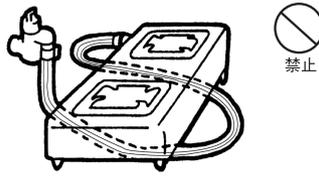
炎が直接触れたり、熱影響を受ける可能性がある使い方は絶対にしないでください。

■ゴム管はゴム製品ですので、熱影響を受けると焼損する可能性があり、ガスが漏れて大変危険です。



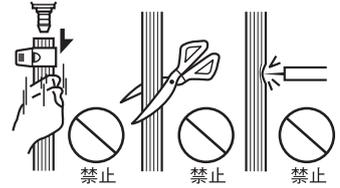
ガス機器の下にゴム管を通すと炎の熱影響を受けます。絶対にしないでください。

■ガスコンロやグリルの下にゴム管を通すと、熱影響を受け、焼損する可能性があり、ガスが漏れて大変危険です。



ガス栓を開いたまま、引き抜いたり、切ったり、突いたり絶対にしないでください。

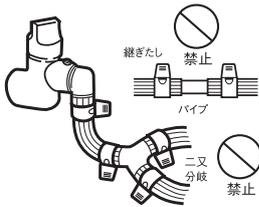
■故意にゴム管を抜いたり、切断したりすると、ガスが漏れて大変危険です。



△警告

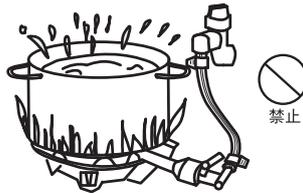
ゴム管を継ぎたして使用しないでください。

■ゴム管の継ぎたしや二又分岐は、ガス機器が立ち消えしたり、接続部が外れたり、ガス漏れの原因となり危険です。



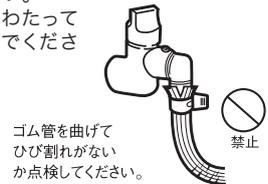
過酷な環境下では早めに取り替えてください。

■油や熱がかかる場所ではゴム管の劣化が進みやすいので、早めに取り替えてください。



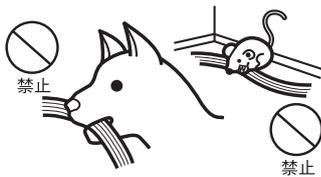
以下の場合には交換してください。

■ひび割れ、変色、膨潤、硬化、ふくれ、傷などの異常が認められたら、ただちに交換してください。
■機器を取り替える際には、新品のゴム管と取り替えてください。
■長い年月にわたって使用しないでください。



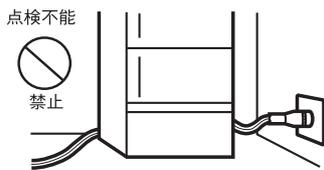
ネズミや犬にも注意が必要です。

■小動物がゴム管をかじると、ガスが漏れる可能性があります。
■日常点検を行い傷が認められたら、ただちに新しいゴム管に取り替えてください。



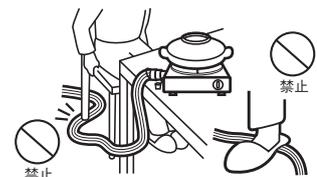
点検できないところでは使用を避けてください。

■冷蔵庫の裏などの見えにくい場所では、小動物などにかじられやすいので、日常点検ができないので、取り付けを避けてください。



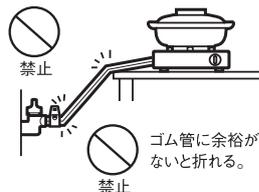
踏みつけたり、硬いものではさまないでください。

■足や椅子などで踏みつけたりすると、ガスの流れが止まり、炎が立ち消えたり、ゴム管が劣化する可能性があります。



余裕のない長さでは使用しないでください。

■長さに余裕がない場合は、ゴム管が折れてガスの流れが止まり、炎が立ち消えする可能性があります。
■ゴム管が抜けやすくなり、ガス漏れの原因となりますので危険です。



必要以上の長さでは使用しないでください。

■常時使用であれば3m以下、一時的な使用でも5m以下でご使用ください。
■長すぎると足をひっかけて外れたり、折れてガスが流れなくなることで火が消えたり、ガス機器が倒れるなど、予期せぬ事故につながります。部屋をまたいでの使用もしないでください。



日頃から日常点検を行ってください。ゴム管を取り外すときは、必ずガス栓を閉め、専用のガス栓キャップを取り付けてください。

■ゴム管を指で折り曲げて、ひび割れがないか確認してください。
■汚れがひどい時は、台所用中性洗剤を薄めて濡れ雑巾で拭いてください。
■お手入れ時に塩素系洗剤は使わないでください。

ゴム管の長さ調整

■ゴム管は適当な長さ(少したるみのある状態)に調整して取り付けください。
■長さ調整は、ゴム管を引っ張りながら、ハサミやカッターを使い、切断面が直角になるよう怪我に注意して切断してください。

△注意

■ゴム管は主に「ゴム」よりできており、これらの材料は時間と共に劣化します。■外観に異常が認められなくても、3年程度を目安に取り替えてください。
■ゴム管をガス栓や器具に取り付ける際は、接続部が硬くなったり、ゆるんでいないかなどを確認してご使用ください。接続部が硬くなったり、ゆるんでいる場合は、ガス漏れの原因となりますので、すぐに新しいゴム管に取り替えてください。

製造元



株式会社 十川ゴム

〒550-0015 大阪市西区南堀江4丁目2番5号
TEL. (06) 6538-1261 (代)